

宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明るいまちをつくります。
- 2 きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくります。
- 3 学ぶことを大切にし、文化の薫る美しいまちをつくります。



編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 TEL 36-0231

開館5周年記念(市制90周年記念) 文芸講演会盛大に行う

実行委員会が活躍

市立図書館の5周年を記念し、併せて宇都宮市の市制90周年を祝おうと企画された文芸講演会が、7月13日(日)午後6時30分から文化会館大ホールで開催されました。深い感銘を与えたことと思います。

講師に、現在文壇の第一線で活躍中の作家渡辺淳一氏をお招きし、「才能についてー作家と医師の立場からー」を演題に、約2時間に渡つての熱のこもった講演は、会場を埋め尽くした約2000人の市民に

宇都宮市立図書館5周年(市制90周年)記念事業実行委員会構成団体

No.	団体名	代表者(敬称略)
1	宇都宮子どもの本連絡会	三部千鶴
2	宇都宮市ずいひつの会	大出京子
3	宇都宮市立図書館点訳グループ「あけぼの」	梶原ゆみ子
4	宇都宮市立図書館朗読グループ「あけぼの」	栗原和友
5	宇都宮市読書会連合会	石島京子
6	古文書を読む会	山本保一郎
7	宇都宮市青少年団体連絡協議会	西岡寿夫
8	西原地区自治会連合会	鱈渕圭一
9	富士見地区自治会連合会	横島 廣
10	宮の原地区自治会連合会	生井勝巳
11	栃木県学校図書館協議会	大町雅美
12	宇都宮市PTA連合会	山崎守男
13	宇都宮地区幼稚園連合会	石川満都子
14	宇都宮市民間保育園園長会	大野寿弥
15	宇都宮市地域婦人会連絡協議会	倉田ヨシノ
16	宇都宮市身体障害者福祉会連合会	増山延映
17	うつのみや映写ボランティアの会	小林充佳
18	栃木子どもの本連絡会	我妻玲子
19	宇都宮市立図書館	塚田隆一

この講演会を企画・立案し、当日の運営の中心になったのが、4月20日に発足した、上表の市立図書館5周年(市制90周年)記念事業実行委員会のメンバーの人達でした。受付係・会場係をはじめ、7つの係に66人の会員の協力があり、会場・駐車場の整理、講演会の進行等予定通り進行し、実行委員会が大いに結束した結果でした。



この実行委員会の構成団体から推薦された15人の編集委員によって現在進められているが、もう一つの記念事業である講演録の編集です。この5年間の60講座を2部構成で一冊の本にまとめることになりました。第1部は子どもの本関係の講座、第2部は子どもの本講座などが掲載されます。

これから編集会議を重ね、遅くとも来年3月までに発刊する運びです。

びの予定ですのでご期待ください。書名を「道をひらく」とし、掲載予定者は左表のとおりで、採録されない人の話は、ダイジェストの形で紹介されます。

構成	テーマ	氏名
第1部 子どもに感性を		清水道尾 小暮正夫 椋 鳩十 佐々木宏子 松井のり子 清水達郎 寺村輝夫 北川幸比古
第2部 おとなに未来を		外山滋比古 藤田圭雄 立松和平 小田島雄志 筑紫哲也 後藤明生 奥野健男 志賀かう子 木村治美

大きい図書館の役割

これら5周年記念事業を機に、「市民による、市民のための、開かれた図書館」づくりに一層努力してまいりますので、市民の皆さんも積極的に図書館を利用し、図書館を育て、教育・文化の拠点の一つにしていきたいと思います。

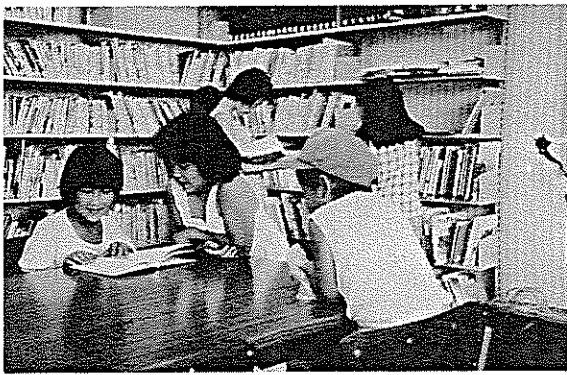
巡回文庫(公民館・分館)

増冊今年度分完了

図書館では、今年度から五年計画で、巡回文庫を順次増冊していく予定です。

7月までに、今年度分として12か所の配本所で増冊を終えました。お近くの巡回文庫をどうぞご利用下さい。

市内には16の公民館と、22の公民館分館が各地区にあります。このうち雀宮公民館を除く全ての公民館と、図書館から比較的距离の遠い11の分館に、巡回文庫として図書館の本が配本されています。配本冊数は、東、北公民館が三、



増冊か所と配本冊数

配本所名	一般書	児童書	紙芝居
東公民館	1500	1500	100
峰分館	300	160	40
泉が丘分館	300	160	40
城東分館	200	260	40
陽東分館	500	—	—
御幸が原分館	300	160	40
平石公民館	300	160	40
清原公民館	300	160	40
横川公民館	300	160	40
瑞穂野公民館	300	160	40
豊郷公民館	300	160	40
城山公民館	300	160	40

そのほかの配本所

中部、西、南、北、国本、富屋、篠井の各公民館。
中央、東、築瀬、昭和、錦、宝木、雀宮の各分館。

配本図書の入替えは、配本所を7グループに分け、グループ内で順送りする方法をとり、毎週木曜日に1グループの入替え、つまり各配本所では7週に一度の割合で入れ替えが行なわれることになります。

巡回文庫は当初、すべて一〇〇冊の配本でしたが、東、北公民館等で少しずつ配本冊数を増やしてきました。そして今年度からの増冊計画ですが、最終的には、公民館においては五、〇〇〇冊、一、〇〇〇冊の範囲での配本、分館で五〇〇冊の配本を目標に、5年計画で行なう予定です。前年度から

調査を始め、各公民館、分館の収容可能冊数は何冊なのか、新しく書架を設置する必要があるのかどうか等をまとめてきました。

今年6月から、9か所に書架を増設し、新しい本を購入して、7月までに12の配本所に、合計五、四〇〇冊の増冊配本を行いました。増冊後の様子を聞きますと、各配本所とも好評で、利用する方も徐々に増えてきているようです。

図書館の分館が設置されるまでは、巡回文庫により遠隔地の方の読書要求にこたえることができるようにしたいと、努力しております。巡回文庫は、各地区にまたがり、数多くありますが、配本冊数に限りがあり100%満足してはいただけないかもしれません。しかし、できる限り魅力ある図書を配本していきたいと思っておりますので、お近くの巡回文庫をぜひご利用下さい。

巡回文庫
利用案内

貸出冊数 5冊まで

貸出期間 2週間

図書館の貸出券があればOK。
券のない方はその場でつくれます。
図書館、移動図書館を利用されている方もどうぞ。

リクエストも受け付けます。

本の切り抜きは
やめましょう

美しい花木のカラー写真が、鋭利な刃物で切り取られたページ、数ページが抜けている大型の画集、さらにはボールペンで書き込みされたページ。こんな汚損資料が残念ですが最近目立ち始めました。市民共有の図書館資料が、ごく一部の人の満足のために利用価値を失ってしまいます。利用者の皆さん、図書館資料がいつも気持ちよく利用されていくために、本の切り抜きに注意しましょう。

????? ステーション・
????? マスターは、図書
????? ? 館が移動図書館を
????? ? 運行している地域
????? ? において図書と地
????? ? 域の利用者の結び
手として活躍しています。

各ステーションにおいて、図書の貸出・返却や、リクエストの受付などの業務のほか、地域に密着した立場を生かして、読書会を含めた読書活動の推進、読書相談など、大きな役割を果たしています。公民館長、分館長から推薦を受け、教育長が委嘱するものです。

「グリム兄弟について」

橋本 孝氏

6月8日(日)宇都宮大学の橋本孝教授を迎えて第1回読書活動推進講座を開催しました。去年と今年はグリム兄弟の生誕200年にあたるので、これを記念して、グリム兄弟をテーマに選びました。

橋本先生は、グリム兄弟が学生時代を過ごしたドイツのマールブルク大学に3年間留学され、この時の体験もまじえて、わかりやすく話されました。

まず、グリム兄弟がなぜ偉大なのか、ということから始まり、そ

れは「ゲッティンゲン大学7教授事件」に象徴されるように、自由のためには身をもつて闘ったことにあります。

そして、このグリム兄弟の生きた時代は、フランス革命を始めとする荒れた時代であり、ドイツはまだ統一されておらず、外国人の王様による支配を2度も経験しています。自由になることと、自分のための本当の祖国を持つことが、ぴったり一致していたわけですが、そのためにドイツ文学者会議を提

第1回子どもと子どもの本をつなぐ講座 波木井やよい氏

6月22日に、日本子どもの本研究会理事の波木井やよい氏をお招きして、講座が開催されました。

「読み聞かせをしてみよう―実践編―」をテーマに読み聞かせを行うにあたっての考え方やどんな点に注意して行うかなどについて、楽しく時間いっぱい話されました。

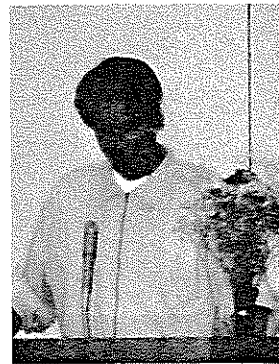
氏自身、子どもの本の読み屋であると言いい、読み屋とは新刊書を読むということ、子どもに本を

読んであげるという2つの意味があるとされました。

読み聞かせは子どもと本とのあいだを願う大人たちによって広がってきました。絵本とのあいだのことばの文化財とのあいだです。たっぷり読み聞かせを受けた子どもは読書の楽しさを知ることができま

唱し、議長にも選ばれています。

グリム童話は、フォルクス・メーリヒェン(民衆童話)であり、こういう時代背景のもとに、グリ



ム兄弟が、祖先からの財産を書き残すためにできたものです。これが日本でも明治以来翻訳されて、子ども達には日本の童話と同じように広く親しまれているわけです。

②ことばも絵も大切に。③必ず下読みをする。④間の取り方、めくり方、声の大きさに注意する。⑤聞いている子どもの側にたつて



子どもを理解する。⑥読み手であると同時に聞き手になる。⑦いろいろな本をたくさん、楽しく読んであげてくださいと話されました。

利用者用

端末機について

みなさんは、一般開架室に設置された利用者用端末機にお気づきでしょうか。この端末機は5月末にお目見えし、みなさんが自由に操作できるようになっています。

調べられるのは、本の題名・書いた人・本の分類番号・雑誌の題名・レコード等の題名・作曲者演奏者・レコード等の分類番号の7項目で、それぞれの項目から所蔵の有無・出版社や価格等の書誌情報・現在貸出し中かどうか、貸出し中のときはいつ返却されるかの資料情報を知ることができます。

今までの何冊にも分かれていた書名目録・著者名目録とちがって端末機のキーをたたくだけで、最新の受入状況や発注中のものまで調べるができるようになっていきます。

また、利用者のプライバシーの保護にも十分配慮して、貸出中の利用者番号は**印におきかえてあります。

「端末機の使い方」をよく読んでご利用ください。わからないときは職員におたずねください。混み合っているときはお互いにゆずりあって、楽しくお調べください。

来館者意識調査

に御協力を

8月19日から8月29日まで「読書アンケート」と「図書館利用アンケート」を実施します。市民のみなさんの読書への関心や宇都宮市立図書館への考えを知ることにより、今後の図書館運営の参考にしたいと思いますので、どうぞ御協力ください。

対象は、「読書アンケート」が小学生以上、「図書館利用アンケート」が中学生以上です。配布場所は、一般開架室・児童室・閲覧室・調査相談室を予定しています。一人でも多くの御協力をお願いします。

目録箱

問 もつと本の数を増やしてください。

答 図書購入については昨年度が約四万七千冊、本年度は更に多くを予定しておりますが、移動図書館、巡回文庫等の図書の充実もしてゆかなければなりません。読みたい本がありましたらリクエストして下さい。なるべく購入してゆきたいと思ひます。

教育文化ボランティア養成講座

日時 8月31日(日)

午後1時30分～3時30分

講師 自治医大教授 長野 敬氏

場所 市立図書館3階集会室

テーマ サイエンスブックを読む
— 近代から現代まで —

定員 120名

受付 8月22日(金)から、電話か直
接、市立図書館へ

落語会

第24回落語会を開催
します。

落語会の模様を「声
の図書」として作成し、
目の不自由な方々に、
「聞く読書」を楽しんで
いただくことができます。

寄席の雰囲気を出すためにも、ぜ
ひご来場のうえ、いっしょにお楽
しみください。

日時 9月20日(土) 午後3～5時

場所 市立図書館3階集会室

子どもと子どもの
本をつなぐ講座

日時 9月7日(日)

午後1時30分～3時30分

講師 松戸市おはなしキャラバン
理事 浜島代志子氏

場所 市立図書館3階集会室

テーマ 未定

定員 120名

受付 8月29日(金)から、電話か直
接、市立図書館へ

宇都宮の
方言となまり

「宇都宮の方言となまり」を発行
いたしました。ぜひ、お手元にお
きご利用ください。

頒布価格 五百円。部数 六百部。
取り扱い 市役所本庁・別館売店

ニュース
コーナー



宇都宮市読書会
連合会総会開かる

日時 8月3日(日)午前10時～正午

場所 市立図書館3階集会室

議事 (1)昭和60年度事業報告及び
決算について
(2)昭和61年度事業計画及び
予算について
(3)役員改選
(4)その他、今後の活動のあ
り方について

貸出状況

区 分	61年 6月	61年度累計 61/4～61/6
登 録 者 数	599人	101,944人
貸 出 人 数	館 内	16,608人
	視聴覚	1,943
	館 外	3,209
	計	21,760
貸 出 冊 数	館 内	55,228冊
	視聴覚	4,593
	館 外	13,472
	計	73,293
		193,441

(注) 登録者累計数は、開館からの累計数

6月の	館内 1日あたり	館外 1ステーションあたり
貸出人数	692人	28人
貸出冊数	2,301冊	118冊

利用案内

○開館時間

午前9時30分～午後7時
ただし、児童図書室は
午前9時30分～午後5時

○休館日

毎週月曜日
国民の祝日
図書整理日(毎月初日または翌日)

○貸出は

図書・紙芝居 5冊
レコード 3枚
ビデオ・フィルム 5点
あわせて13点まで

○講座の問い合わせ・申し込み

電話または直接図書館へ
電話 (36) 0231

8月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					①	2
3	④	5	6	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	⑱	19	20	21	22	23
24	⑳	25	26	27	28	29
30	31					

9月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					①	②
3	④	5	6	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	⑱	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

ボランティア製作

あたらしい本

▽二分間の冒険・ドキ
ユメント大蔵省銀行局
(佐藤孝子)▽非常階
段(木立とみ)▽怒り
の白き都(吉野直利)
▽今夜も眠れない(藤
田東子)▽樹の声・海
の声(中(木村あい)▽
ジュリアン・グリーン全集五(横
山嘉子)

点訳図書

▽たろうのおでかけ(小田玲子)
▽うさぎの耳はなぜ長い・みきち
やんとムウ・もりたろうさんのじ
どうしや(福島州子)▽小さな青
い馬(長谷部幸江)▽おおきな
としもの(坂本裕美)▽マザーグ
ース・くもうさぎさんきてるかな
(福田偕子)

このほかボランティアの方々の
ご協力により、六十一年度読書感
想文課題図書の録音・点訳ができ
ました。

寄 贈

飯塚清雄「窓日」綾部健二「詩
集マイルストーン」三田忠夫「栃
木県詩人選集1986」宇都宮市医師会
「宇都宮市医師会史」佐藤正之「花
筵」渡辺清「歌集ことぶき第十」
大森清寿「きのこNo.1」ほか多数。